

プラスチック製容器包装の分別収集を 令和4年度より開始します!

プラスチック製容器包装って何?



食品などの商品の容器や包装で、中身の商品を取り出した（使った）後、不要となるプラスチック製のもの（ペットボトルを除く）をいいます。プラスチック製容器包装には、目印としてプラマークがついています。

プラスチック製容器包装の実践講座を実施しています!

岐阜市では今年度（令和元年度）、地域の団体等を対象に実践講座を行っています。実践講座を希望する団体は、裏面下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。



実践講座では、このような質問が出ています。

Q1. どのように分別すればいいの?

A. プラマークの有無でプラスチック製容器包装になるかどうかを判断してください。
また、部位ごとに材料が違うものも、プラマークを目印に、対象部位だけ分別してください。

錠剤の容器



ヨーグルトの容器



※普通ごみの収集へ

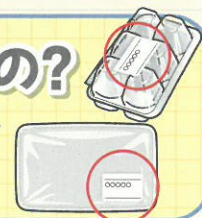
ヘアスプレーの容器



※カンの収集へ

Q2. 容器包装についているラベルはどうすればいいの?

A. 簡単にはがせるものはがしてください。はがせないもの、はがしても残ってしまうものは、そのままにして出してくださいで大丈夫です。



Q3. 汚れているものはどうすればいいの?

A. 汚れているプラスチック製容器包装は、洗って出してください。水洗いをしたプラスチック製容器包装は、乾かしてから出してください。

歯磨き粉等のチューブ



折り曲げて中身を絞り出してから口元を水でゆすいでください。

納豆のパック



水に浸した後、軽くゆすいでください。内容物が無く、洗った跡があれば大丈夫です。

油の容器



1時間ほど逆さまにして油がたれなければ、大丈夫です。

食品ロスを減らそう!

食品ロスとは?



「食べられるのに捨てられている食べ物のこと」です。
日本では、年間約643万トンもの食品ロスが発生していると推計されています*。
これは、1人あたり毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てている量に相当します。
おいしく残さず食べるなど、食品ロスの削減、生ごみの減量に取り組みましょう!

※平成28年度 環境省及び農林水産省

「岐阜市食べキリ協力店」を利用しよう!

岐阜市では、料理の食べ残しの削減に取り組む飲食店等を「3・3プロジェクト 岐阜市食べキリ協力店」として登録し、協働して食品ロスの削減に取り組んでいます。
外食などする際は協力店を積極的に利用して、食品ロスの削減にご協力をお願いします。
登録店の一覧は、右のQRコードから読み取ることができます。



「3Rクッキング」をしよう!

3Rクッキングとは、地球のことを考えて

買い物

例えば

使い切れる量を買う

調理

例えば

食材を丸ごと使い切る料理

片づけ

例えば

生ごみの水切り

をすることです。



これらを意識して行うことで、ムダな買い物も減り、ごみ出しが楽になったり、カラス被害が減ったりなど、多くのメリットがあります。もちろん食品ロスの削減にもつながります。
家庭にも環境にも優しい3Rクッキングを実践してみましょう!

詳しい内容は、下記のお問い合わせ先へ
または市ホームページで「3Rクッキング」を入力して検索



危険物の出し方について

危険物（マッチ、ライター、リチウムイオン電池等）が原因で、火災が発生する事例が多発しています。マッチ・ライターは各地域の指定場所で月1回行われる、廃食用油等の収集で作業員に渡してください。（リチウムイオン電池は、各地域の指定場所に設置されている廃蛍光管・乾電池の回収箱に入れて大丈夫です。）
普通ごみ、ビン・カン・ペットボトル、粗大ごみの袋には入れないでください。

詳しい内容は、下記のお問い合わせ先へ
または市ホームページで「ごみ出しのルール」を入力して検索



お問い合わせ先

●「プラスチック製容器包装」「危険物の出し方」について

⇒岐阜市 環境部 環境事業課

電話：058-214-2418 eメール：ka-jigyuu1@city.gifu.gifu.jp

●「食品ロス」について

⇒岐阜市 環境部 低炭素・資源循環課

電話：058-214-2179 eメール：tanso-sigen@city.gifu.gifu.jp